



## 2021年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社  
 コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 畑 謙一 TEL 03-6742-8550  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	613,842	△2.4	98,386	△11.1	97,060	△8.8	77,200	△9.2	77,268	△9.3	115,732	95.3
2020年3月期	628,897	4.9	110,611	3.7	106,466	3.7	85,037	7.3	85,211	7.2	59,246	△40.1

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	102.33	102.11	9.6	7.5	16.0
2020年3月期	113.96	112.61	11.7	9.0	17.6

（参考）持分法による投資損益 2021年3月期 △716百万円 2020年3月期 △445百万円  
 調整後営業利益 2021年3月期 115,927百万円 2020年3月期 124,998百万円

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,351,192	856,662	856,662	63.4	1,133.13
2020年3月期	1,241,355	754,883	754,813	60.8	1,003.36

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	121,485	△85,317	△7,436	200,770
2020年3月期	117,479	△84,714	14,010	166,898

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00	21,010	24.6	2.9
2021年3月期	—	14.00	—	15.00	29.00	21,917	28.3	2.7
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		26.2 ～27.7	

（注）2021年3月期における1株当たり期末配当金については、14円から15円に変更しております。詳細については、本日（2021年5月12日）公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ（増額）」をご覧ください。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000 ～680,000	9.1 ～10.8	124,000 ～130,000	7.0 ～12.1	107,000 ～113,000	8.8 ～14.9	82,000 ～86,500	6.1 ～11.9	108.46 ～114.42

（注）2022年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、通期の業績予想のみをレンジ形式により開示しております。詳細につきましては、〔添付資料〕5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

・年間想定レート；1ドル＝107円、1ユーロ＝128円

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	759,521,040株	2020年3月期	759,521,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,508,047株	2020年3月期	7,236,929株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	755,097,852株	2020年3月期	747,734,898株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	7
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 連結財政状態計算書 .....	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	10
連結損益計算書 .....	10
連結包括利益計算書 .....	11
(3) 連結持分変動計算書 .....	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループでは、2016年12月に次の5カ年を対象とする中長期成長戦略を策定しました。中長期ビジョンとして「日本発のグローバル企業」を掲げ、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなること、そしてその信頼を製品・供給・サービスのトータルクオリティで担保することを目指して経営を推進しております。4年目となる当期の連結業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
売上収益	628,897	613,842	△2.4	△1.6
売上総利益	343,932	326,623	△5.0	△3.3
調整後営業利益	124,998	115,927	△7.3	△4.5
営業利益	110,611	98,386	△11.1	△8.3
税引前利益	106,466	97,060	△8.8	—
当期利益	85,037	77,200	△9.2	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	85,211	77,268	△9.3	—

当期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
日本	196,339	201,758	2.8	2.8
欧州	121,128	120,389	△0.6	△2.5
米州	191,388	180,798	△5.5	△2.0
アジア他	120,040	110,896	△7.6	△6.9
海外計	432,557	412,084	△4.7	△3.5
合計	628,897	613,842	△2.4	△1.6

<売上収益>

売上収益は、前期比2.4%減の6,138億円となりました。

日本では、心臓血管カンパニーにおいて新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、他地域と比較し小さかったことに加え、ホスピタルカンパニーにおいて感染対策製品に対する需要増、アライアンス事業や麻酔用鎮痛剤の好調もあり、前期比2.8%の増収、額として2,000億円を超え過去最高の売上収益となりました。

海外では、ホスピタルカンパニーと血液・細胞テクノロジーカンパニーに対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響は小さかったものの、心臓血管カンパニー、特にTIS（カテーテル）事業に対する同影響が大きく、前期比4.7%の減収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、心臓血管カンパニーを中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上収益の減少があり、前期比5.0%減の3,266億円となりました。

<調整後営業利益>

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費を一部抑制したものの、売上総利益の減少により、前期比7.3%減の1,159億円となりました。

なお、調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。また、調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いています。

当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない指標である調整後営業利益を追加的に開示しております。調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理にも利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

<営業利益>

営業利益は、調整後営業利益の減少により、前期比11.1%減の984億円となりました。

<税引前利益>

税引前利益は、営業利益の減少により、前期比8.8%減の971億円となりました。

<親会社の所有者に帰属する当期利益>

親会社の所有者に帰属する当期利益は、税引前利益の減少により、前期比9.3%減の773億円となりました。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	350,550	328,549	△6.3	△5.5
	(日本)	50,924	50,208	△1.4	△1.4
	(海外)	299,626	278,341	△7.1	△6.2
ホスピタルカンパニー	売上収益	170,963	175,545	2.7	3.0
	(日本)	132,880	139,139	4.7	4.7
	(海外)	38,083	36,405	△4.4	△3.0
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	107,156	109,491	2.2	4.2
	(日本)	12,309	12,154	△1.3	△1.3
	(海外)	94,847	97,336	2.6	4.9

<心臓血管カンパニー>

日本では、カーディオバスキュラー事業の補助循環装置 (ECMOシステム) や、ニューロバスキュラー事業の血流改変ステント等が牽引したものの、全般に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一定程度残り、わずかに減収となりました。海外では、特に米州においてTIS (カテーテル) 事業、カーディオバスキュラー事業への同影響が大きく、心臓血管カンパニーの売上収益は前期比6.3%減の3,285億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本とアジアを中心に、多くの製品において新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、日本でホスピタルシステム事業の感染対策関連製品や麻酔用鎮痛剤が牽引したことに加え、グローバルでアライアンス事業の製薬企業との提携ビジネスが拡大したことにより、ホスピタルカンパニーの売上収益は前期比2.7%増の1,755億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本では、血液センター向け製品において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による血液需要の減少を受け、わずかに減収となりました。海外では、アフレスス治療製品と細胞処理製品において、同影響による需要減が見られましたが、新型コロナウイルス感染症の回復期血漿の需要が増加、また成分採血装置の新ソフトウェアが牽引した結果、血液・細胞テクノロジーカンパニーの売上収益は前期比2.2%増の1,095億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は、1,098億円増加して13,512億円となりました。これは主に、営業活動等を通じて現金及び現金同等物が339億円増加した他、生産設備等への投資により有形固定資産が353億円増加したことに加え、子会社等の取得や新ITシステムへの投資等により有形無形資産が103億円増加したことによるものです。

負債合計は、81億円増加して4,945億円となりました。これは主に、長期借入金の借入れにより非流動負債の社債及び借入金が226億円増加した一方、年金資産の増加により退職給付に係る負債が118億円減少したことによるものです。

資本合計は、1,018億円増加して8,567億円となりました。これは主に、当期利益の計上により772億円増加した他、為替相場が円安に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により385億円増加した一方で、剰余金の配当により211億円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,479	121,485	4,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,714	△85,317	△602
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,010	△7,436	△21,447
現金及び現金同等物の期末残高	166,898	200,770	33,871

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,215億円となりました。税引前利益971億円、減価償却費及び償却費539億円、法人所得税の支払額231億円、棚卸資産の220億円増加が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、853億円となりました。生産設備等の設備投資に伴う有形固定資産の取得による支出623億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出208億円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、74億円となりました。短期借入金の返済による支出400億円、長期借入れによる収入700億円、社債の償還による支出100億円、配当金の支払額212億円が主な要因です。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	62.3	60.8	63.4
時価ベースの会社所有者帰属持分比率(%)	224.0	225.4	223.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.2	2.3	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	83.8	122.8	114.3

(注) 親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

※キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

医療機器市場は、高齢者数の増加と、それに伴う慢性疾患の増加等により、今後も市場の拡大が見込まれています。一方で医療費の増加が財政を圧迫する中、価値や効率性を重視した医療へのシフトが加速しています。また、海外では買収等による業界再編が進み、企業規模の巨大化と集中・寡占化が進みつつあります。

このような事業環境を踏まえ、当社グループは中長期成長戦略を推進しています。初年度の2017年度(2018年3月期)は、前年度に買収した事業の業績も寄与し、中長期成長戦略の目標達成に向け、順調な滑り出しとなりました。2年目である2018年度(2019年3月期)は、上期に心臓血管カンパニーの一部の製品で愛鷹工場からの出荷遅延があったものの、下期には全面的に正常化しました。3、4年目の2019年度(2020年3月期)と2020年度(2021年3月期)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、いずれも期初の利益予想を上回りました。5年目となる2021年度(2022年3月期)は、同年度以降の持続的な成長を実現するべく、各地域における事業間シナジーを追求する「総合力・ブランド力の発揮」、「グローバル組織・オペレーションの最適化」「デジタル化とビジネスモデルの変革推進」、グローバル人的資本の見える化や専門性の強化を図る「人財マネジメントの進化」、そして「強みとなるコアテクノロジーの深化」等に取り組んでいきます。

2021年度の業績見通しは以下のとおりです。なお、2021年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けることが想定されます。影響を受ける地域、期間、規模等は正確な予測が困難ですが、業績予想の数値を策定する上では、上半期からワクチンの普及や医療需要の回復が進み、成長軌道への回帰を見込むシナリオを予想の上限とし、一方で、上半期は2020年度同様に世界各地で感染者数が増減し、下半期により早く感染症拡大がコントロールされて回復に向かうシナリオを予想の下限とするレンジによる開示としております。

レンジの下限に当たるシナリオにおける報告セグメントごとの影響としては、心臓血管カンパニーにおいては、緊急性の低い症例の延期等により、一時的な需要の減少を想定しています。また、減少レベルや回復に要する期間等は、事業領域や地域によって異なり注視が必要です。一方で、ホスピタルカンパニーと血液・細胞テクノロジーカンパニーについては、医療インフラに関連する製品や、慢性疾患向けの製品が多いため、影響は限定的と見ています。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2021年3月期 業績	2022年3月期 業績予想	増減額	増減率 (%)
売上収益	613,842	670,000 ～680,000	56,157 ～66,157	9.1 ～10.8
調整後営業利益	115,927	124,000 ～130,000	8,072 ～14,072	7.0 ～12.1
調整後営業利益率	18.9%	18.5% ～19.1%	—	—
営業利益	98,386	107,000 ～113,000	8,613 ～14,613	8.8 ～14.9
営業利益率	16.0%	16.0% ～16.6%	—	—
親会社の所有者に帰属 する当期利益	77,268	82,000 ～86,500	4,731 ～9,231	6.1 ～11.9

2020年3月期実績レート；1ドル＝106円、1ユーロ＝124円

2021年3月期想定レート；1ドル＝107円、1ユーロ＝128円

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的にすすめ、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様の利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。

株主の皆様への利益分配につきましては、安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指してまいります。

当期の年間配当金につきましては、当初新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みて、配当予想を前年度から据え置き28円としておりましたが、当期業績の状況を勘案し、1株につき29円とする予定です。従って、期末配当金は、既にお支払いした中間配当金1株につき14円を差し引き、1株につき15円とする予定です。

次期の年間配当金につきましては、1株につき30円(うち中間配当金15円)を予定しております。

《おことわり》

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。



## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上及びグローバルでのルール統一による経営管理の精度向上とガバナンス強化を目的として、2018年3月期期末決算より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,898	200,770
営業債権及びその他の債権	131,728	128,770
その他の金融資産	397	1,116
棚卸資産	147,147	175,576
未収法人所得税等	1,745	510
その他の流動資産	12,689	17,222
流動資産合計	460,607	523,966
非流動資産		
有形固定資産	264,407	299,679
のれん及び無形資産	461,506	471,834
持分法で会計処理されている投資	5,275	3,644
その他の金融資産	17,733	19,449
繰延税金資産	27,307	23,729
その他の非流動資産	4,517	8,887
非流動資産合計	780,748	827,225
資産合計	1,241,355	1,351,192

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2020年 3 月31日)	当連結会計年度 (2021年 3 月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	88,044	83,528
社債及び借入金	50,324	42,072
その他の金融負債	6,144	7,784
未払法人所得税等	11,681	14,311
引当金	395	374
その他の流動負債	55,256	63,295
流動負債合計	211,845	211,366
非流動負債		
社債及び借入金	195,870	218,497
その他の金融負債	31,802	32,122
繰延税金負債	20,360	15,962
退職給付に係る負債	18,456	6,639
引当金	92	96
その他の非流動負債	8,043	9,845
非流動負債合計	274,626	283,163
負債合計	486,472	494,530
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,858	51,829
自己株式	△14,103	△6,838
利益剰余金	705,765	775,078
その他の資本の構成要素	△27,423	△2,123
親会社の所有者に帰属する持分合計	754,813	856,662
非支配持分	69	-
資本合計	754,883	856,662
負債及び資本合計	1,241,355	1,351,192

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	628,897	613,842
売上原価	284,964	287,219
売上総利益	343,932	326,623
販売費及び一般管理費	235,144	228,566
その他の収益	4,737	3,814
その他の費用	2,914	3,485
営業利益	110,611	98,386
金融収益	1,671	1,727
金融費用	5,371	2,337
持分法による投資損益(△は損失)	△445	△716
税引前利益	106,466	97,060
法人所得税費用	21,428	19,859
当期利益	85,037	77,200
当期利益の帰属		
親会社の所有者	85,211	77,268
非支配持分	△173	△67
当期利益	85,037	77,200
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	113.96	102.33
希薄化後1株当たり当期利益(円)	112.61	102.11

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期利益	85,037	77,200
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△1,181	1,448
確定給付制度の再測定	△4,499	11,803
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△5,681	13,252
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△19,813	24,390
キャッシュ・フロー・ヘッジ	204	667
ヘッジコスト	△500	220
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△20,109	25,278
その他の包括利益	△25,790	38,531
当期包括利益	59,246	115,732
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	59,415	115,801
非支配持分	△169	△69
当期包括利益	59,246	115,732

(注) 上記の計算書の項目は税引後で開示しております。

(3) 連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2019年4月1日時点の残高	38,716	52,029	△32,381	646,223	△6,553	698,034	78	698,113
当期利益	-	-	-	85,211	-	85,211	△173	85,037
その他の包括利益	-	-	-	-	△25,795	△25,795	4	△25,790
当期包括利益合計	-	-	-	85,211	△25,795	59,415	△169	59,246
自己株式の取得	-	-	△3	-	-	△3	-	△3
自己株式の処分	-	-	89	△21	△67	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△20,507	-	△20,507	-	△20,507
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-	△4,950	4,950	-	-	-
子会社の増資に伴う持分の変動	-	-	-	-	-	-	159	159
株式報酬取引	-	△50	120	82	41	194	-	194
転換社債型新株予約権付社債の転換	-	△120	18,072	△272	-	17,679	-	17,679
所有者との取引額合計	-	△170	18,278	△25,668	4,924	△2,636	159	△2,476
2020年3月31日時点の残高	38,716	51,858	△14,103	705,765	△27,423	754,813	69	754,883
当期利益	-	-	-	77,268	-	77,268	△67	77,200
その他の包括利益	-	-	-	-	38,533	38,533	△1	38,531
当期包括利益合計	-	-	-	77,268	38,533	115,801	△69	115,732
自己株式の取得	-	-	△3	-	-	△3	-	△3
自己株式の処分	-	-	96	△14	△82	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△21,109	-	△21,109	-	△21,109
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-	13,197	△13,197	-	-	-
株式報酬取引	-	0	99	102	47	249	-	249
転換社債型新株予約権付社債の転換	-	△29	7,072	△132	-	6,910	-	6,910
所有者との取引額合計	-	△29	7,265	△7,956	△13,232	△13,953	-	△13,953
2021年3月31日時点の残高	38,716	51,829	△6,838	775,078	△2,123	856,662	-	856,662

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	106,466	97,060
減価償却費及び償却費	52,358	53,932
持分法による投資損益(△は益)	445	716
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△695	256
受取利息及び受取配当金	△1,019	△539
支払利息	1,828	2,337
為替差損益(△は益)	262	249
固定資産除売却損益(△は益)	114	498
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△7,318	6,417
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,284	△21,985
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	3,442	△814
その他	3,396	6,754
小計	141,995	144,884
利息及び配当金の受取額	1,215	740
利息の支払額	△956	△1,062
法人所得税の支払額	△24,774	△23,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,479	121,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△154	△149
定期預金の払戻による収入	1,313	305
有形固定資産の取得による支出	△62,316	△62,318
有形固定資産の売却による収入	23	16
無形資産の取得による支出	△21,168	△20,806
無形資産の売却による収入	—	212
有価証券の取得による支出	△1,512	△2,102
有価証券の売却による収入	2	2,900
子会社又はその他の事業の取得による支出	△902	△3,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,714	△85,317
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	40,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△40,000
長期借入れによる収入	—	70,000
社債の償還による支出	—	△10,000
非支配持分からの払込みによる収入	159	—
リース負債の返済による支出	△5,638	△6,277
自己株式の取得による支出	△3	△3
配当金の支払額	△20,507	△21,155
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,010	△7,436
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,859	5,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43,916	33,871
現金及び現金同等物の期首残高	122,982	166,898
現金及び現金同等物の期末残高	166,898	200,770

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「心臓血管カンパニー」、「ホスピタルカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	サブセグメント	主要製品
心臓血管カンパニー	TIS (カテーテル)	血管造影用ガイドワイヤー、血管造影用カテーテル、イントロデューサーシース、大腿動脈穿刺部止血デバイス、PTCA用バルーンカテーテル、冠動脈ステント、末梢動脈疾患治療用ステント、超音波画像診断装置、血管内超音波カテーテル 他
	ニューロバスキュラー	脳動脈瘤治療用コイル・ステント、虚血性脳梗塞治療用吸引カテーテル・除去デバイス 他
	カーディオバスキュラー	人工肺、人工心肺装置 他
	血管	人工血管、ステントグラフト
ホスピタルカンパニー	ホスピタルシステム	輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸液セット、シリンジ(注射筒)、輸液剤、鎮痛剤、栄養食品、癒着防止材、血糖測定システム、電子血圧計、電子体温計 他
	アライアンス	プレフィルドシリンジ製剤製造受託、製薬企業向け製品(薬剤充填用シリンジ、医薬品同梱用注射針) 他
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	血液バッグ、成分採血システム、血液自動製剤システム、病原体低減化システム、遠心型血液成分分離装置、細胞増殖システム 他



(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	350,550	170,963	107,156	628,670	226	628,897
セグメント利益 (調整後営業利益)	86,855	25,248	15,053	127,157	△2,158	124,998
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△6,908	—	△8,208	△15,117	△549	△15,667
一時的な損益 (注) 2						1,280
営業利益						110,611
金融収益						1,671
金融費用						△5,371
持分法による投資損益						△445
税引前利益						106,466
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	25,222	12,250	14,541	52,014	344	52,358
有形固定資産及び 無形資産の増加額	47,813	14,343	22,205	84,362	5,147	89,510

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額226百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額△2,158百万円には、棚卸資産の調整額△173百万円、欧州医療機器規則 (MDR) への適合に伴う準備費用△1,929百万円等が含まれております。
- 一時的な損益1,280百万円には、一昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,181百万円、事業再編費用△1,514百万円、条件付対価の公正価値変動2,239百万円等が含まれております。
- 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	328,549	175,545	109,491	613,586	256	613,842
セグメント利益 (調整後営業利益) (調整項目)	74,399	25,739	19,088	119,227	△3,300	115,927
買収無形資産の償却費	△6,948	—	△8,012	△14,961	328	△14,632
一時的な損益 (注) 2						△2,907
営業利益						98,386
金融収益						1,727
金融費用						△2,337
持分法による投資損益						△716
税引前利益						97,060
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	27,216	13,057	14,802	55,075	△1,143	53,932
有形固定資産及び 無形資産の増加額	34,614	15,144	23,282	73,041	4,167	77,208

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額256百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△3,300百万円には、棚卸資産の調整額931百万円、欧州医療機器規則 (MDR) への適合に伴う準備費用△2,676百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△2,907百万円には、条件付対価の公正価値変動△1,365百万円、事業再編費用△692百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

(1株当たり情報)

当社の普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	85,211	77,268
当期利益調整額		
転換社債型新株予約権付社債による利益調整額 (百万円)	39	4
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	85,250	77,273
期中平均普通株式数(株)	747,734,898	755,097,852
普通株式増加数		
転換社債型新株予約権付社債(株)	8,841,837	1,292,609
ストック・オプション(株)	446,050	372,721
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	757,022,785	756,763,182
基本的1株当たり当期利益(円)	113.96	102.33
希薄化後1株当たり当期利益(円)	112.61	102.11

(注) 基本的1株当たり当期利益は、親会社の普通株主に帰属する当期利益を、連結会計年度中の発行済普通株式の加重平均株式数により除して算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

[1] 生産実績

報告セグメント	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	348,406	△5.0
ホスピタルカンパニー	170,830	4.7
血液・細胞テクノロジーカンパニー	112,552	6.3
合 計	631,788	△0.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
 2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 報告セグメントに含まれる製品は、14ページ「各報告セグメントの主な製品」をご覧ください。

[2] 受注状況

当社グループ（当社及び連結子会社）は見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

[3] 販売実績

報告セグメント		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	TIS (カテーテル)	220,628	△6.6
	ニューロバスキュラー	45,016	△5.5
	カーディオバスキュラー	41,582	△10.1
	血管	21,322	4.9
ホスピタルカンパニー	ホスピタルシステム	146,915	△0.3
	アライアンス	28,630	21.1
血液・細胞テクノロジーカンパニー	—	109,491	2.2
調整額		256	13.3
合 計		613,842	△2.4

- (注) 調整額256百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。